

変わる「葬儀」、増える「墓じまい」

大事にしたいこと、そして費用は…

令和3年(2021)

会場本堂・参加自由

3月20日(土)祝

16時～17時:30分 講演会

※彼岸の中日ですので大変な混雑が予想されます。出来る限り、お車でのご来山をおひかえ頂きますようお願い申し上げます。

(春分の日・彼岸の中日)



お話: 平田住職

得度して僧侶になって33年。修行から帰ってきて檀家参りをするようになって31年。びっくりするぐらい仏事を取り巻く風習が変わってきました。先代などはその流れに抵抗しようとしていましたが、葬儀会館が主導するような形になってきて、各地区で大事にされていた習慣が消えてゆき、均一化され、形骸化してきました。あの世の先代はそれを「困ったもんだな」と眺めていることでしょう。

コロナ禍が「家族葬」に拍車をかけています。しかし、あとから「なぜ知らせてくれなかったの」という方が何人も出てこられてしんどい思いをしたという方もおられます。「エンディングノート」(お持ちでない方は当日差し上げます)を作り、本当にお別れに来てほしい人のリストを作っておくことをお勧めします。儀式が形式的に流れていくだけではなく、「本人の思い=感謝・お礼・これからの家族のこと・心配事」、「家族の思い=思い出・感謝・お礼」、「友人の思い=思い出・感謝・お礼」など、「皆さんの思いを交流し共有できる場」になるように、枕経から始まる一連の儀式を考えています。そしてそれが、葬儀後の悲嘆・しんどさとうまく付き合っていくための支えになってくれると考えています。

また、「跡継ぎがない」「墓を維持できない」「仏壇をどうしよう」など悩む方が増えてきました。岡本寺霊園でも「墓じまい」が急増しています。また、故郷の「墓じまい」の相談も増えてきました。「ご先祖様に申し訳ない」「断腸の思いで…」墓じまいをご決断されておられます。しかし、墓じまい後「心の墓は守っていきます」と新たな気持ちで過ごされている方もいらっしゃいます。「墓じまい」のあと、どうすれば「心の墓を守っていける」のか、更に費用や手続きなどについて具体例や進めていく手順もご紹介いたします。

◆参加無料・予約なし! どなたでも自由に参加できます! 詳しくはお寺までご連絡ください。(平日10時～16時)

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203

〒666-0121 兵庫県川西市平野1-33-14 TEL/FAX072-793-0203 mail:vyku11976@nike.eonet.ne.jp

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または [川西市岡本寺](#) [検索](#)